

■米国：PJM がダイナミック・プライシングによる需要抑制量の取扱いを整備

連邦エネルギー規制委員会（FERC）は 2012 年 5 月 14 日、PJM に対し、ダイナミック・プライシング（市場連動型の小売電気料金制度、以下、DP）の導入により抑制される需要（kW）取扱いに関する市場規則を条件付きで承認した。本制度では、DP により削減が見込まれる需要をプライス・レスポンス・デマンド（PRD）と定義し、小売事業者等は PRD プロバイダーとして PJM に対し PRD 相当の需要削減をコミットする。実需要から PRD を差し引くことで、市場価格高騰を抑制することができる。また、PRD を供給する小売事業者にとって、PRD 相当分発電容量の調達義務が減免されるというメリットがある。本制度は早ければ 2015 年度供給分から適用が開始される見込みである。